

昭和57年度定期総会開かる

三翠化学会

(題字は稲川先生)

第17号
昭和57年8月31日 発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農学部内
農芸化学科
振替名古屋9-59345
電話津(0592)32-12
印刷(株)ある

先輩後輩、 膝を交えて懇親

昭和五十七年度の三翠化学会定期総会が、去る五月二十三日午前十一時から津市内の洞津会館で開催された。当日は恩師滝先生を始め、赤木、熊澤両先生のご出席をいただき、会員約五〇名が参集した。

総会にはまず桑原章郎氏(大上)の開会の辞で始まり、同氏の司会のもとで、議長に鈴木幸郎氏(専3)を、議事録記録署名人に田中実氏(大20)を選出した。岡田会長の挨拶ののち、鈴木議長のもとで議事が進められた。まず、昭和五十六年度事業報告



記念写真



総会風景写真



懇親会風景写真

と、盛大な懇親会とすることができた。まず、岡田会長の挨拶、滝先生の首領取りによる乾杯で始まり、それぞれの先生方のスピーチをいただいた。滝先生のお話は、一日は長く一年は短い悠々自適の様子を、学科主任の熊澤先生は、新卒者の就職状況と、各職場における先輩方の導きに対するお礼とお祝い、赤木先生は趣味のお話について藤村の詩を朗々と吟ぜられた。

つづいて出席会員一人一人の自己紹介にうつり、豊富な経験から読み出た含蓄ある先輩の言葉、はつらつとして希望に燃えた若手の自己紹介とつづき、しんがりを岡田会長がひき受けた。ウィットに富んだ財福のすすめ計画的な基盤づくりなど、心にみる人生訓で最後を締めくくつていただいた。

予定の時間を大幅に超過して会館の係員に催促されながら、遠路ご出席下さった佐野恒平氏(専1)と地元の今西勝氏(専1)のリードで三翠応援歌を斉唱、渋谷明副会長(大4)の首

頭で万歳三唱し、若林長生総会担当理事(専1)による閉会のことばを司会の豊田氏が代理して、午後三時解散した。

この三翠化学会にも、一昨年から、皆様のご協力によりまして基金をもつことができました。この基金は、有効適切に運用されておりまして、皆様のご報告申し上げるとともに、会員皆様方の格別のご理解とご協力のお陰とこの席をかりまして、厚くお礼申し上げます。

会長挨拶 昭和57年度 定期総会を迎えて

岡田芳次郎

本日、ご津市の洞津会館に会総会を開催いたしましたことおきまして、本年度の三翠化学

会総会を開催いたしましたことおきまして、本年度の三翠化学

会総会を開催いたしましたことおきまして、本年度の三翠化学

会総会を開催いたしましたことおきまして、本年度の三翠化学

会総会を開催いたしましたことおきまして、本年度の三翠化学

昭和56年度三翠化学会事業報告

S 56年5月10日	会報第14号発行
5月25日	第1回役員・評議員会
5月31日	総会(三翠会館にて)
7月1日	第2回役員・評議員会
12月31日	会報第15号発行
S 57年1月23日	第3回役員・評議員会
3月31日	会報第16号発行

昭和57年度三翠化学会事業計画

S 57年5月17日	第1回役員・評議員会(洞津会館)
5月23日	総会(洞津会館)
7月	第2回役員・評議員会
8月	会報第17号発行
12月	第3回役員・評議員会
S 58年3月	会報第18号発行
3月	第4回役員・評議員会

昭和56年度三翠化学会決算報告

収入の部(単位円)	
前年度繰越	361,080
会費	947,000
雑収入	28,610
計	1336,690
支出の部(単位円)	
会報印刷費(14,15,16号)	577,200
郵送通信費	266,520
振込手数料	14,790
会議費	57,900
人件費	73,990
事務費	38,430
三翠会昭和56年度負担金	30,000
生花及び弔電代	34,810
計	1093,640
差引残高	243,050

昭和57年度三翠化学会予算

収入の部(単位円)	
前年度繰越	243,050
会費	750,000
雑収入	5,000
計	998,050
支出の部(単位円)	
会報印刷費(17,18号)	400,000
郵送通信費	250,000
会議費	100,000
人件費	150,000
事務費	30,000
三翠会昭和57年度負担金	30,000
予備費	38,050
計	998,050

昭和56年度三翠化学会基金会計報告

収入の部(単位円)	
前年度より繰越	2,600,945
利息	57,058
計	2,658,003
支出の部(単位円)	
56年度卒業生記念品(シャープ)	57,600
こうより(25号)	30,000
57年度新入生歓迎会	30,000
印かん	350
計	117,950
差引残高	2,540,053
資産管理内容(単位円)	
郵便局普通貯金	42,713
郵便局定期貯金	1,900,000
国債	597,340

北岸、奈良両先生 御退官

北岸三先生(土壌学肥料学)

北岸三先生(土壌学肥料学)をもって定年御退官されることになりました。

北岸先生は昭和三十九年から

総説

昭和三十年の国民生活白書は「もう戦後ではない」とうたい日本の社会が貧乏のトンネルを抜け切ったことを告げ、その後、急速な経済成長をもたらした。そして、最近ではしばしば豊かさとは何か問われる時代になった。この間、二十五年余りしか経っていないが、豊かな消費生活の場である家庭がどのような変化を遂げたか、その一部を覗いてみたい。

豊かさの中の家庭生活

大4 澤田寿々太郎

今日の衣生活で、家族のために衣服を縫い上げる主婦がどれほど居るだろうか。ほとんどが規格化された既製衣料品の利用で足りる。従って、衣生活のために裁断、縫製の技術を習熟する必要はなくなった。更に衣服整理の知識や技術も不要化してきた。つまり、既製衣料品には防し加工や耐久プレス等の技術サービスが施されている。洗濯やアイロン掛け条件もそれぞれに衣料に標示されている。このように加工食品比率は単に増加しただけでなく、その中身は益々簡便化され、調理技術料をみずから作り出す仕事から解放されてからかなりの年月が経ったが、最近では食事作りさへも他者へ依存する割合が急速に高まってきた。それは、現在の都市世帯において、食費に占める加工食品費が六〇%に達していることからも測り知ること

調理が主婦の不可避的な役割とが言われてきた。一方、便利な家庭電化製品が次々に登場して家事作業が装置化され、苦痛や不快感を伴う労働を代わってくれる。しかも、電化製品の多くは「one touch」と言われる簡単なシンボル操作で仕事を片付けてしまい、主婦の経験や工夫・創造性さえも不要化してしまつた。以上のように、既製衣料品や加工食品、商品化されたサービスの購入等によって家事作業を外部化し、電化製品の導入による家事作業の装置化によって、家庭の物理的側面が合理化されてきたのである。

今日の豊かさはさまざまな視点から捕えることができる。貧乏に自給自足してきた家族が手仕事から解放される度も豊かさの指標になり得よう。コックやスイッチをひねり、タイマーをセットするだけで多くの苦痛から解放された主婦と陰湿な台所で家族の誰れよりも早く起き、一日中動き、夜遅くまでつくり物に追いまわられていたかつての主婦と比べて、どちらが快適であるかは言うまでもない。家事作業の合理化は経験と忍耐によって、家庭を支えるための台所に釘付けになっていた主婦を解放し、人間としての可能性を追求できる機会と時を急速に増加させたのである。現に、今日の三千万人近い主婦のうち、四六%が何らかの仕事

母親に起こされ、湯気の立った御飯と、香り高い味噌汁を前にしたかつての子供達の感性はもはや電気釜から立ち上がる湯気の中には見出し難くなった。家事労働が、たとえ苦痛を伴うものでもあつても、主婦が家族に認められ、家族との交流が深められていく時、それは家族への献身となり、生き甲斐につながっていたのである。更に

化によって多くの余暇を手に入れた。更に、子供に手がからなくなる四十台半ばから三十年余りの老後にむけての人生は、殆んど余暇であるかも知れない。夫の余暇についても、週休二日制に象徴される労働時間の短縮は二日働いて一日休みを持つ人達を急増させ、在宅時間を増加させるが、家庭の中では義務的な仕事は殆んどない。

このような何もなくても良い家庭生活—余暇—をどのように充実して生きるかは極めて深刻な課題なのである。にもかかわらず、余暇についての学習を全くしないままに、誰もが大量の余暇と直面しなければならぬ。一般に、余暇活動は創造的であるべきとするため、プロの芸術家をもつてしても、創造の連続は耐え難い程度に激しいものである。我々は遭遇したばかりの余暇への対応についてあまりにも楽観的に過るべきではない。

科学技術を経済活動に組み込ませてしまつたと言えよう。家庭があまりにも合理化されていくことは、家庭が今日の豊かさの象徴として、家庭が得たものと失つたものとを改めて評価してみると、人間にとって本當の豊かさとは何か、又、豊かさに向けて何をなすべきかが解明されてくるのである。

次に余暇についても触れておきたい。主婦は家事作業の合理化したげるはずでございました。私たちの驚きと悲しみは、言葉では到底言い表すことができません。神の御理により幽明境を異にしたとおぼしき私どもは、いつも先生がおそばに居て下さり、お導き下さるものと信じます。石川先生安らかに眠り下さることを祈ります。

恩師石川先生には、病氣入院療養中のところ、去る六月二十日朝、薬石効なく不甦の客となられました。お子様方に聞かれて非常に静かな最期であつたことがつております。五十二年春の御退官後一年ぐらいで手術を受けられましたが、その後はすっかり回復されて悠々自適の毎を送られていました。ただ月に二回は大学病院へ診察のため足を運ばれ、その時には私共も元氣なお姿に接することができました。先生のお宅へ伺つた時には、頭の老化を防ぐために角この様な不勉強の専攻生で

あつたためか、週一回の雑談会や輪談会などは特に厳しく指導していただき、内容を十分に捉えられない時は翌週初めからやり直すということが再三でありました。この様に教育・研究には厳しかった先生も、一度研究室から出られると、実に優しく、又楽しい先生であられ、例えば、私は初めて麻痺なるものを教えて頂き、先生一流のはつたりで、と言つては悪いんですが、教室の忘年会等ではかまもにされたものです。あのスリッパでの特徴ある足音に先生が近づいて来られるのを感じて緊張した思い出、またあの高らかな笑い声が私の脳裡に今も残っております。ここに学生時代の思い出を記させて頂きました。先生の御冥福を心からお祈り致します。 大十三回卒 古市幸生 (追悼文)

故石川先生には、その多大な教育研究上の業績に対して、正四位勲三等旭日中綬章の叙勲が決められました。

早く起き、一日中動き、夜遅くまでつくり物に追いまわられていたかつての主婦と比べて、どちらが快適であるかは言うまでもない。家事作業の合理化は経験と忍耐によって、家庭を支えるための台所に釘付けになっていた主婦を解放し、人間としての可能性を追求できる機会と時を急速に増加させたのである。現に、今日の三千万人近い主婦のうち、四六%が何らかの仕事

母親に起こされ、湯気の立った御飯と、香り高い味噌汁を前にしたかつての子供達の感性はもはや電気釜から立ち上がる湯気の中には見出し難くなった。家事労働が、たとえ苦痛を伴うものでもあつても、主婦が家族に認められ、家族との交流が深められていく時、それは家族への献身となり、生き甲斐につながっていたのである。更に

化によって多くの余暇を手に入れた。更に、子供に手がからなくなる四十台半ばから三十年余りの老後にむけての人生は、殆んど余暇であるかも知れない。夫の余暇についても、週休二日制に象徴される労働時間の短縮は二日働いて一日休みを持つ人達を急増させ、在宅時間を増加させるが、家庭の中では義務的な仕事は殆んどない。

このような何もなくても良い家庭生活—余暇—をどのように充実して生きるかは極めて深刻な課題なのである。にもかかわらず、余暇についての学習を全くしないままに、誰もが大量の余暇と直面しなければならぬ。一般に、余暇活動は創造的であるべきとするため、プロの芸術家をもつてしても、創造の連続は耐え難い程度に激しいものである。我々は遭遇したばかりの余暇への対応についてあまりにも楽観的に過るべきではない。

科学技術を経済活動に組み込ませてしまつたと言えよう。家庭があまりにも合理化されていくことは、家庭が今日の豊かさの象徴として、家庭が得たものと失つたものとを改めて評価してみると、人間にとって本當の豊かさとは何か、又、豊かさに向けて何をなすべきかが解明されてくるのである。

次に余暇についても触れておきたい。主婦は家事作業の合理化したげるはずでございました。私たちの驚きと悲しみは、言葉では到底言い表すことができません。神の御理により幽明境を異にしたとおぼしき私どもは、いつも先生がおそばに居て下さり、お導き下さるものと信じます。石川先生安らかに眠り下さることを祈ります。

恩師石川先生には、病氣入院療養中のところ、去る六月二十日朝、薬石効なく不甦の客となられました。お子様方に聞かれて非常に静かな最期であつたことがつております。五十二年春の御退官後一年ぐらいで手術を受けられましたが、その後はすっかり回復されて悠々自適の毎を送られていました。ただ月に二回は大学病院へ診察のため足を運ばれ、その時には私共も元氣なお姿に接することができました。先生のお宅へ伺つた時には、頭の老化を防ぐために角この様な不勉強の専攻生で

あつたためか、週一回の雑談会や輪談会などは特に厳しく指導していただき、内容を十分に捉えられない時は翌週初めからやり直すということが再三でありました。この様に教育・研究には厳しかった先生も、一度研究室から出られると、実に優しく、又楽しい先生であられ、例えば、私は初めて麻痺なるものを教えて頂き、先生一流のはつたりで、と言つては悪いんですが、教室の忘年会等ではかまもにされたものです。あのスリッパでの特徴ある足音に先生が近づいて来られるのを感じて緊張した思い出、またあの高らかな笑い声が私の脳裡に今も残っております。ここに学生時代の思い出を記させて頂きました。先生の御冥福を心からお祈り致します。 大十三回卒 古市幸生 (追悼文)

故石川先生には、その多大な教育研究上の業績に対して、正四位勲三等旭日中綬章の叙勲が決められました。

三翠化学会記念事業基金は、本会発足五周年と農芸化学科設置三〇周年を記念して、昭和五十三年九月から募集を開始、会員皆様方の格別のご協力によってその目標額が達成され、昭和五十四年度から基金の運用を開始しております。その運用の内容は、同年度にまず、在学生への応援旗が贈呈され、昭和五十四年度卒業生から、毎年、卒業記念品を贈呈してまいりました。また学生機関誌「こうもり」への補助も昭和五十四年度からおこなわれ、昭和五十六年度からは新入生歓迎会への補助も恒常的な運用としてなされております。

農芸化学科近況

○薬冠教官着任 四月一日から薬冠和郎教官を醸酵学講座の助手としてお迎えしました。先生は、東北大学農学部農芸化学科卒業後、同大学院博士課程を終了されたの御着任です。今後の御活躍を期待しております。

○石川先生御逝去 かねてより三重大大学附属病院に入院療養中であられました。去る六月二十日、薬石効なく御永眠されました。行年六十八歳。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

三翠化学会記念事業基金は、本会発足五周年と農芸化学科設置三〇周年を記念して、昭和五十三年九月から募集を開始、会員皆様方の格別のご協力によってその目標額が達成され、昭和五十四年度から基金の運用を開始しております。その運用の内容は、同年度にまず、在学生への応援旗が贈呈され、昭和五十四年度卒業生から、毎年、卒業記念品を贈呈してまいりました。また学生機関誌「こうもり」への補助も昭和五十四年度からおこなわれ、昭和五十六年度からは新入生歓迎会への補助も恒常的な運用としてなされております。

基金の運用に提言を 基金運用委員会へ

ユーカーリの木

佐々木敏雄(専2)

五台の車

以上

乳牛共進会

以上

オランダの規模

以上

稲転作

以上

追記

以上

石川先生を偲んで

六月二十日御世界

石川先生におかれましては、六月二十日に御世界され、二十日に盛大な葬儀が自宅で行われました。ここに、専攻生代表として参列された伊佐浄氏(大3卒)の弔辞と多年の間、研究生活をともにされました古市幸生氏(大13卒)の追悼文を掲載させていただきます。生前

の先生を偲ぶがごとくさせていただきます。 謹んで石川先生の霊前にお別れの言葉を捧げます。 先生、長い間私どもは心とかたならぬご恩を受け、そのご恩の万分の一をお返してきぬままで、ここに別れしなければなら

らなくなりました。 思えば先生は勉学に対してはきびしく私共を導いて下さいました。ともすればなまけ勝ちになる学生に対し、容赦なく落第点を付けられ、無言のうちにもあたたかい愛のムチで学生の本分を教えて下さいました。そんな先生を初めは多くの仲間とお

いたげるはずでございました。私たちの驚きと悲しみは、言葉では到底言い表すことができません。神の御理により幽明境を異にしたとおぼしき私どもは、いつも先生がおそばに居て下さり、お導き下さるものと信じます。石川先生安らかに眠り下さることを祈ります。

恩師石川先生には、病氣入院療養中のところ、去る六月二十日朝、薬石効なく不甦の客となられました。お子様方に聞かれて非常に静かな最期であつたことがつております。五十二年春の御退官後一年ぐらいで手術を受けられましたが、その後はすっかり回復されて悠々自適の毎を送られていました。ただ月に二回は大学病院へ診察のため足を運ばれ、その時には私共も元氣なお姿に接することができました。先生のお宅へ伺つた時には、頭の老化を防ぐために角この様な不勉強の専攻生で

あつたためか、週一回の雑談会や輪談会などは特に厳しく指導していただき、内容を十分に捉えられない時は翌週初めからやり直すということが再三でありました。この様に教育・研究には厳しかった先生も、一度研究室から出られると、実に優しく、又楽しい先生であられ、例えば、私は初めて麻痺なるものを教えて頂き、先生一流のはつたりで、と言つては悪いんですが、教室の忘年会等ではかまもにされたものです。あのスリッパでの特徴ある足音に先生が近づいて来られるのを感じて緊張した思い出、またあの高らかな笑い声が私の脳裡に今も残っております。ここに学生時代の思い出を記させて頂きました。先生の御冥福を心からお祈り致します。 大十三回卒 古市幸生 (追悼文)

故石川先生には、その多大な教育研究上の業績に対して、正四位勲三等旭日中綬章の叙勲が決められました。

三翠化学会記念事業基金は、本会発足五周年と農芸化学科設置三〇周年を記念して、昭和五十三年九月から募集を開始、会員皆様方の格別のご協力によってその目標額が達成され、昭和五十四年度から基金の運用を開始しております。その運用の内容は、同年度にまず、在学生への応援旗が贈呈され、昭和五十四年度卒業生から、毎年、卒業記念品を贈呈してまいりました。また学生機関誌「こうもり」への補助も昭和五十四年度からおこなわれ、昭和五十六年度からは新入生歓迎会への補助も恒常的な運用としてなされております。

基金の運用に提言を 基金運用委員会へ

ユーカーリの木 佐々木敏雄(専2)

五台の車 以上

昭和56年度果汁協会技術賞

沢田正徳氏(院7)受賞

昭和五十六年度果汁協会技術賞を沢田正徳氏が昨年の六月五日に受賞されました。本賞は、果汁技術の発展に貢献した研究に対し、毎年一件贈られる賞です。ご研究のますますの発展を祈りあげます。

ここに同氏から寄せられた短信を掲載致します。

私の受賞の対象となりましたのは「温州みかん果実の成長と成分の時季的变化について」と題するものです。みかんの木における八月から十二月の間の果実、及び十二月以降の固い込みの果実について、その果汁の糖度・酸度・N態窒素・パルプ質・ビタミンC・灰分の変化、糖・有機酸・アミノ酸の解析と変化及び果汁のアroma、果皮の精油の変化を調べることにより、果実の成長を総合的に調べました。特に香料屋らしくGC、GC-MSを用いてアロマ・精油の成分の同定及び変化を明らかにしたことが大きな要因のようでした。

この受賞も皆様方の御支援によるものです。今後共々よろしくお願い致します。

院15 北川 優

今年、京都薬品工業に入社しました。五月病も乗り越え、ホッとしていたのですが、また新しい病に悩まされている今日このごろです。それは、自分が年老いて死ぬ時に「ア、おれの人生は良かったなあ。」と思えるようにするには、何をすべきかということです。

大30 岩崎 誠二

三重大学の農芸化学の皆さん、お元気ですか。私は今、信州大学の畜産製造学研究室で牛乳タンパクの抗原性の解析をしています。これは平たく言えば、牛乳タンパク分子内で、どの部分

社会人

大30 増田 芳孝

小生、名を増田芳孝と申します。現在、土壌・肥料研究室の院生として大学に残っています。本来なら、小生も社会の一員として仕事をしているわけですが、二年間余計に学生生活を送ることになった次第です。思えば四年間、何事にもものんびりと過ごしてきた小生ですが、この二年間は自分の選んだ道である以上、後悔の残らないものにしたいたいと思

大30 牧 真二

私は、名糖産業の食品開発部で働いております。開発部と言えは聞こえは良いですが、実際は、開発や品質管理ばかりでなく、雑用が多々あり、雑用部といった感じがします。それに、開発

大30 河村龍二郎

大学院(食品化学研究室)に入學して、もう四月がすぎました。入学して、専攻生のめんどうもろくにみられず、ましてや自分の

年 生

大30 柳瀬 茂樹

私は新入社員で、おちこむ一方の日々を、わりとんがにすぎている。研究テーマは去年の卒論と同じ「澱粉質化性酵母の検索とその性質に関する研究」だが、この研究に入るにあたって、庄野製粉、敷島コーンスターチ様から土壌をいただいた。Amylase活性の強い酵母をscreeningし、現在、菌体外Amylaseの精製を行っている段階で、今後は、洗米廃水などに応用していきたいと考えている。

大30 浅野 一郎

今年大学を卒業して、現在、京都大学食糧科学研究所食品分析部門、通称松下研の修士1回生です。この松下研の研究テーマは、ガスマス(GCM)・高速液クロ(HPLC)・ガスクロ(GLC)・イアトロスキヤン等の機器を使って、脂質酸化生成物の分析や生成機構を解明することです。修論テーマは決まりましたが、まだトリーニング期間中で、本格的な実験は休み以降に始める予定です。そのため今は、わりと時間的余裕があつて、実験やセミナーの合間にスポーツをしたり、実験が終わった後、皆とビールを飲んだりして楽しくやっています。

大30 山田 恵一郎

大学院(食品化学研究室)に入學して、もう四月がすぎました。入学して、専攻生のめんどうもろくにみられず、ましてや自分の

今年三月に、四年間親しんだ大学を卒業し、社会人一年生となりました。私は地元の太陽化学KKに青山君と二人就職し、当初は研究室に入る予定でしたが、都合により香料部に移り、現在は香料の勉強をしながら、もっぱらフルーツ加工品の生産にあたりております。しかしながら、失敗ばかりを繰り返して、大学生活の延長のつもりでいた私は一辺に目が覚め、社会人となった自分甘さのようなくつづいた次第です。これはやはり、お金を払って講義を受けていた大学時代と仕事をしてお金をもらうという現在の差に対する自覚が、あつて、実験やセミナーの合間にスポーツをしたり、実験が終わった後、皆とビールを飲んだりして楽しくやっています。

今年三月に、四年間親しんだ大学を卒業し、社会人一年生となりました。私は地元の太陽化学KKに青山君と二人就職し、当初は研究室に入る予定でしたが、都合により香料部に移り、現在は香料の勉強をしながら、もっぱらフルーツ加工品の生産にあたりております。しかしながら、失敗ばかりを繰り返して、大学生活の延長のつもりでいた私は一辺に目が覚め、社会人となった自分甘さのようなくつづいた次第です。これはやはり、お金を払って講義を受けていた大学時代と仕事をしてお金をもらうという現在の差に対する自覚が、あつて、実験やセミナーの合間にスポーツをしたり、実験が終わった後、皆とビールを飲んだりして楽しくやっています。

院15 錦見 喜夫

六年間の学生生活を終え、鈴鹿の薬品会社に勤めています。学生時代には「どうせ同じような実験を行うなら、早く金をもらって仕事をしたい」と考えていました。しかしながら、いざ

大30 佐藤 郁夫

「今、あなたは何年生ですか。」という問いに対し、「大学院一年です。」と答える。この「大学院生」という響きは、私の実体を知らない人にとっては相当学識

大30 友田 善久

現在、京都大学大学院農学研究所食品工学専攻、農産製造学研究室M1。

大30 内田 郁夫

大学を卒業して早くも四月。私は、三重県環境科学センターの水質課で河川水、海水、工場排水等の水質分析を行っています。仕事としては、大学時代にやった実験をしているようなもので、そう難しいものではないと思いますが、出た結果によっては、工場に行政指導が及ぶこともあ

会費納入のお願い

昭和五十七年度までの会費を未納の方は是非御納入頂きますようお願い致します。現在、昭和五十七年度会費の納入率は五〇%をわずかに越えた状態にあります。本会は一〇〇%納入頂いてようやく最低の活動が維持できる状態にあり、今回お配りした三

昭和五十七年度までの会費を未納の方は是非御納入頂きますようお願い致します。現在、昭和五十七年度会費の納入率は五〇%をわずかに越えた状態にあります。本会は一〇〇%納入頂いてようやく最低の活動が維持できる状態にあり、今回お配りした三

が牛乳アレルギーの原因になっているかを検索するものです。吸光度計と電気泳動を唯一の手段として、遅々たる速度で進んでいます。

分の売り上げより成り立っており、一日七時間の労働時間が貴重で、非常に責任あるものと感

の大学院(食品化学研究室)に入學して、もう四月がすぎました。入学して、専攻生のめんどうもろくにみられず、ましてや自分の

現在、京都大学大学院農学研究所食品工学専攻、農産製造学研究室M1。

大学を卒業して早くも四月。私は、三重県環境科学センターの水質課で河川水、海水、工場排水等の水質分析を行っています。仕事としては、大学時代にやった実験をしているようなもので、そう難しいものではないと思いますが、出た結果によっては、工場に行政指導が及ぶこともあ

今年三月に、四年間親しんだ大学を卒業し、社会人一年生となりました。私は地元の太陽化学KKに青山君と二人就職し、当初は研究室に入る予定でしたが、都合により香料部に移り、現在は香料の勉強をしながら、もっぱらフルーツ加工品の生産にあたりております。しかしながら、失敗ばかりを繰り返して、大学生活の延長のつもりでいた私は一辺に目が覚め、社会人となった自分甘さのようなくつづいた次第です。これはやはり、お金を払って講義を受けていた大学時代と仕事をしてお金をもらうという現在の差に対する自覚が、あつて、実験やセミナーの合間にスポーツをしたり、実験が終わった後、皆とビールを飲んだりして楽しくやっています。

今年三月に、四年間親しんだ大学を卒業し、社会人一年生となりました。私は地元の太陽化学KKに青山君と二人就職し、当初は研究室に入る予定でしたが、都合により香料部に移り、現在は香料の勉強をしながら、もっぱらフルーツ加工品の生産にあたりております。しかしながら、失敗ばかりを繰り返して、大学生活の延長のつもりでいた私は一辺に目が覚め、社会人となった自分甘さのようなくつづいた次第です。これはやはり、お金を払って講義を受けていた大学時代と仕事をしてお金をもらうという現在の差に対する自覚が、あつて、実験やセミナーの合間にスポーツをしたり、実験が終わった後、皆とビールを飲んだりして楽しくやっています。

アメリカ・ヨーロッパを訪ねて

その4

赤木盛郎

異常気象下の今日この頃、三翠化学会の皆さんお変わりありませんか。私は相も変らず多忙の日々を元気に過ごしております。今回は、柑橘類農業協同組合(SUNKIST GROWERS INCORPORATED)を主体に少し書いてみたいと思っております。

サンフランシスコからUNITED AIR LINEの約1時間

間、西海岸最大の都市ロスアンゼルスに着く。空港で西本貿易支店長村田氏(三重県出身)の迎えをうけ、会社の説明、案内などいろいろと興味あるお話をうかがった。

西本貿易は各種の食品類、果物類を主に扱っている会社で、同社の香川大出身のY氏にも親切に説明、案内などしていただいた。米国のこのような

食品類が取り扱われているのか興味もたれたのであるが、会社の倉庫には、日本のメーカーの食酢、だし、醤油などを始めとする種々の調味料類が多く、また先に見学したホルル酒造の製品もみられた。どちらからいへば、大味なものが多いこの国では調味料関係の品が受けるのである。その他わが国の

そうめん類、焼きそばまであった。カリフォルニア州とアリゾナ州では年中柑橘類を栽培するこ

とができ、オレンジとレモンは年中収穫可能で、ネーブルは十一月から五月まで、グレープフルーツは四月から九月まで収穫でき、その他の柑橘類も栽培されている。

これらの州では収穫果実の多くは新鮮なまま発送、市場に出しているが、一方、工場では加工が行われ、種々の柑橘加工製品が生産されている。カリフォルニア州ONTARIO市のレモン部門工場やアリゾナ州YUMA市のアリゾナ工場などでは多量の柑橘類の加工が行われ、ジュース、冷凍濃縮ジュース、清涼飲料の素、ペクチンなどを始めとして、多種類の加工品の

生産が行われている。オントリオ市はロスアンゼルスと東方、車で二時間余りのところに位置し、ここにサンキストの立派な工場と研究所がある。訪問当時は、はるか彼方に雪を

いたたく美しい高い山並みが見わたされ、澄み切った青空のもと非常に環境の良いところであった。わが国との関係も深く、最初案内に出てきたマネージャーの名刺の片断は片仮名で縦書きされていた。オレンジ部門の工場は従業員約千人、研究所には立派なドクターもいる。普通倉庫のほか、大規模な冷蔵庫や冷凍品・濃縮ジュース用の冷凍倉庫(零下三度)がある。

カリフォルニア、アリゾナ両州の柑橘園経営者組合から、鉄道やトラックなどで集められた

た柑橘類は、それぞれを一部は試験室において、ブリックス、酸、糖分、色調その他の試験用

サンプルに供され、価格の決定とともに最も効果的な加工法の選択に用いられる。オレンジ、グレープフルーツその他の柑橘類は、洗剤による洗浄、選択機による傷物取り除きが行われた後、最適なジュース抽出機に分配される。ジュース製品の多くは、色、味、栄養素などの変質や分解を防止するため低温で蒸発処理し、濃縮液として市販される。この蒸発器はまた柑橘油類の収集にも使用される。濃縮ジュースは使用まで冷凍倉庫に貯蔵される。

柑橘皮からは家庭の飼料、柑橘油、ペクチンその他が生産される。飼料は柑橘皮にライムを加えて圧縮、除湿し、皮乾燥機で乾燥して製造されている。品質管理室には、ジュース加工品と柑橘類加工品の試験の二部門があり、製品出荷に先立ちこの研究室の認可を必要とする。注目すべきものとして、廃熱利用蒸発器がある。大気中に放散される熱を利用して廃液などを濃縮して固形分を回収する設備で、回収濃縮液は家畜の飼料となる柑橘皮に添加される。この方式は、乾燥機からの排出物を再循環させて、環境汚染防止にも役立っている。

研究室はSENIOR RESEARCH CHEMISTであるDR. S. K. REEDERが

加えて圧縮、除湿し、皮乾燥機で乾燥して製造されている。品質管理室には、ジュース加工品と柑橘類加工品の試験の二部門があり、製品出荷に先立ちこの研究室の認可を必要とする。注目すべきものとして、廃熱利用蒸発器がある。大気中に放散される熱を利用して廃液などを濃縮して固形分を回収する設備で、回収濃縮液は家畜の飼料となる柑橘皮に添加される。この方式は、乾燥機からの排出物を再循環させて、環境汚染防止にも役立っている。

多くの資源にめぐまれた国でさえ、資源の高度利用、省エネルギーや公害対策に大変な努力をしている。各種資源の乏しいわが国においては、これらの有効利用、省エネ、公害対策などの面での研究、努力がより一層のぞまれると強く感じながら帰路についた。

DR. D. B. NELSONが主に案内や説明をしてくれ、質疑応答を行ったが、廃物の利用、書などとして理解を深めた。専門的な話題になると会話よりも板書が手とり早く正確な方法と思われた。

健康が何よりの財産

大18 音川太郎

こんにちは皆さん、十八期卒の音川太郎です。今、学生時代と社会人としての十二年を振り返っています。学生当時、学舎は近代化の波の打ち寄せる中にも、草木深く、田舎のにおいがあふれていました。講義や実験は二年目の新学舎で行われました。厳しかった試験や、おびえながら受けた再試も今は良い思い出です。卒業当時、二百教社の中から現在の外資の製菓メーカーを選びまして、十三期卒の先輩と二人で会社を支えて(笑)おります。いつも、お医者さん

の話をしている訳ですが、食品の栄養素の話とか、酵素とか酸酵の話とか、抗生物質の話とかは微生物の関与で、昔のノー

ドは二〇です。ハンデが縮まるうちは、仕事もバリバリやれる活力がある証だと言いがらゴルフの方に勢を出している次第です。こんな調子でも中堅と言われる年令になりまして、何か一つでも人に教えられる事

身につけたいと思うようになりました。今一思ふ事は健康が何よりの財産という事です。毎日病気の人が沢山いる所に行きますが、良い薬に頼る気持ちよりも、病気になるまいよう注意する事だと思いたち、五年前にタバコをやめました。皆様も御健康で楽しい毎日をお過ごし下さい。

バス釣りにアメリカの代表的なスポーツフィッシングはバス釣りです。アメリカの太公望達はこの釣りにかける意気込みは大変なもので、日本の釣りマニアと比べ、いさかおびえを取りません。バスという魚は、日本には生育していません。日本には冷たい水が大量に湧き出ているので、我々にはあまり馴染みがないのですが、アメリカの河川には実に多種類のバスが生育しているのです。その代表的なものがアラックバスです。と言いますのもこの魚は米国のほとんどの川で繁殖しており、しかも岸近くに生活圏を有しているため、人の目にふれる機会が多いからです。普通体長三〇〜五〇cmぐらいで体重は一kg程度です。河や湖の岸近くに浮いている水草などの下にひそんで小魚などを餌に生かしています。非常に用心深い魚でヒットさせるのはかなりテクニクを要しますが、一度針がかりさせた後のフアイ

ド州からカリフォルニア湾に達するコロラド河ではありません。という幅百メートル程の川が市を東西に切断して流れています。私はこの支流に当るバートンスプリングという場所に、早春の頃は二カ月間、毎早朝バスフィッシングに出かけました。ここは冷たい水が大量に湧き出ているので、年中遊み切った水が流れていてアラックバスをはじめ多数の魚達にとって絶好の生息地となっています。

米人達のフィッシングは生餌を使う事はまずありません。バスフィッシングの場合には特にそうです。ルアーと呼ばれる疑似餌を用います。これは全体が釣り針そのもので、その針に魚の形をしたプラスチックや水を切る際に回転する金属片を取り付けておいたり、毛針のように鳥類の羽毛などが巻きつけてあったりします。これをリールを使用して投入し、各様のアクションをつけながら引き釣ります。

三月の中旬、テキサスといえども今だ冷たい水が流れているので、早朝バートンスプリングに出陣しました。空はどんより曇っています。岸から見る流れは前

日目の雨の為に普段と比べ、かなり濁っています。ルアー釣りで、魚の視覚が頼りですから良いコンディションとはいえず、バスはよく集まるポイントでは、バスだけ多投をくりかえす必要がなければなりません。この川の場合、一カ所ビッグポイントがあります。川幅約四〇メートルで大木が川に倒れ込んで深い淵を作っている所です。岸の両側にはオークの大木がそびえ立ち、足場はそんなに悪くありませんが、倒れ込んだ大木により、作られている淵が川のほぼ真中にあるため、そこに正確に投入するのはかなり慎重さが要求されます。弾力に富む短いロッド(竿)を使用し、ラインはやや太目にし、やや重量のあるルアーを使用することになりました。約一〇センチメートルのプラスチックワーム(プラスチックで作ったミミズ)を重り付きの針に取り付けたものをルアーとしました。淵に人影はありません。川の流れが音と鳥の鳴き声だけが聞こえます。二度、三度とルアーを投入しますが、淵の奥みにルアーを引っかかないように、できるだけ小さなアクションで行います。さらに数回投入した

テキサス釣魚記

大19 八木年晴

米国テキサス州、オースティンに約一年二月滞在し、その間にアメリカ流のフィッシングを見よう見まねで行ってきました。今回、それらの一部を紹介させていただきます。

コロラド川におけるアラック

バス釣りにアメリカの代表的なスポーツフィッシングはバス釣りです。アメリカの太公望達はこの釣りにかける意気込みは大変なもので、日本の釣りマニアと比べ、いさかおびえを取りません。バスという魚は、日本には生育していません。日本には冷たい水が大量に湧き出ているので、我々にはあまり馴染みがないのですが、アメリカの河川には実に多種類のバスが生育しているのです。その代表的なものがアラックバスです。と言いますのもこの魚は米国のほとんどの川で繁殖しており、しかも岸近くに生活圏を有しているため、人の目にふれる機会が多いからです。普通体長三〇〜五〇cmぐらいで体重は一kg程度です。河や湖の岸近くに浮いている水草などの下にひそんで小魚などを餌に生かしています。非常に用心深い魚でヒットさせるのはかなりテクニクを要しますが、一度針がかりさせた後のフアイ

ド州からカリフォルニア湾に達するコロラド河ではありません。という幅百メートル程の川が市を東西に切断して流れています。私はこの支流に当るバートンスプリングという場所に、早春の頃は二カ月間、毎早朝バスフィッシングに出かけました。ここは冷たい水が大量に湧き出ているので、年中遊み切った水が流れていてアラックバスをはじめ多数の魚達にとって絶好の生息地となっています。

米人達のフィッシングは生餌を使う事はまずありません。バスフィッシングの場合には特にそうです。ルアーと呼ばれる疑似餌を用います。これは全体が釣り針そのもので、その針に魚の形をしたプラスチックや水を切る際に回転する金属片を取り付けておいたり、毛針のように鳥類の羽毛などが巻きつけてあったりします。これをリールを使用して投入し、各様のアクションをつけながら引き釣ります。

三月の中旬、テキサスといえども今だ冷たい水が流れているので、早朝バートンスプリングに出陣しました。空はどんより曇っています。岸から見る流れは前

日目の雨の為に普段と比べ、かなり濁っています。ルアー釣りで、魚の視覚が頼りですから良いコンディションとはいえず、バスはよく集まるポイントでは、バスだけ多投をくりかえす必要がなければなりません。この川の場合、一カ所ビッグポイントがあります。川幅約四〇メートルで大木が川に倒れ込んで深い淵を作っている所です。岸の両側にはオークの大木がそびえ立ち、足場はそんなに悪くありませんが、倒れ込んだ大木により、作られている淵が川のほぼ真中にあるため、そこに正確に投入するのはかなり慎重さが要求されます。弾力に富む短いロッド(竿)を使用し、ラインはやや太目にし、やや重量のあるルアーを使用することになりました。約一〇センチメートルのプラスチックワーム(プラスチックで作ったミミズ)を重り付きの針に取り付けたものをルアーとしました。淵に人影はありません。川の流れが音と鳥の鳴き声だけが聞こえます。二度、三度とルアーを投入しますが、淵の奥みにルアーを引っかかないように、できるだけ小さなアクションで行います。さらに数回投入した

回攻めてみました。一度それらしい当りを感じたものの、残念ながらヒットさせることができませんでした。今日はこの一匹が釣果となりました。

オースティン市民は、自然をできるだけ残しておこうという気風が強いようで、オースティン内にはこのように絶好の釣り場が他にもたくさん存在しています。バートンスプリングは、私ルマウスバスでした。普通スモールのバスはテキサスのような気温の高い所では生育していません。バートンスプリングは冷たい水が湧き出ているため、例外的に生息しているように思われます。わが国でも、このような自然をもっと残せたら良いと思われました。

待ちに待った屋敷みには、私など、たいして近くの神奈川県庁舎の十二階にある食堂で、横浜港をながめながら、ポケッと過してました。

今、私は.....

こんにちは皆さん、十八期卒の音川太郎です。今、学生時代と社会人としての十二年を振り返っています。学生当時、学舎は近代化の波の打ち寄せる中にも、草木深く、田舎のにおいがあふれていました。講義や実験は二年目の新学舎で行われました。厳しかった試験や、おびえながら受けた再試も今は良い思い出です。卒業当時、二百教社の中から現在の外資の製菓メーカーを選びまして、十三期卒の先輩と二人で会社を支えて(笑)おります。いつも、お医者さん

の話をしている訳ですが、食品の栄養素の話とか、酵素とか酸酵の話とか、抗生物質の話とかは微生物の関与で、昔のノー

ドは二〇です。ハンデが縮まるうちは、仕事もバリバリやれる活力がある証だと言いがらゴルフの方に勢を出している次第です。こんな調子でも中堅と言われる年令になりまして、何か一つでも人に教えられる事

身につけたいと思うようになりました。今一思ふ事は健康が何よりの財産という事です。毎日病気の人が沢山いる所に行きますが、良い薬に頼る気持ちよりも、病気になるまいよう注意する事だと思いたち、五年前にタバコをやめました。皆様も御健康で楽しい毎日をお過ごし下さい。

バス釣りにアメリカの代表的なスポーツフィッシングはバス釣りです。アメリカの太公望達はこの釣りにかける意気込みは大変なもので、日本の釣りマニアと比べ、いさかおびえを取りません。バスという魚は、日本には生育していません。日本には冷たい水が大量に湧き出ているので、我々にはあまり馴染みがないのですが、アメリカの河川には実に多種類のバスが生育しているのです。その代表的なものがアラックバスです。と言いますのもこの魚は米国のほとんどの川で繁殖しており、しかも岸近くに生活圏を有しているため、人の目にふれる機会が多いからです。普通体長三〇〜五〇cmぐらいで体重は一kg程度です。河や湖の岸近くに浮いている水草などの下にひそんで小魚などを餌に生かしています。非常に用心深い魚でヒットさせるのはかなりテクニクを要しますが、一度針がかりさせた後のフアイ

ド州からカリフォルニア湾に達するコロラド河ではありません。という幅百メートル程の川が市を東西に切断して流れています。私はこの支流に当るバートンスプリングという場所に、早春の頃は二カ月間、毎早朝バスフィッシングに出かけました。ここは冷たい水が大量に湧き出ているので、年中遊み切った水が流れていてアラックバスをはじめ多数の魚達にとって絶好の生息地となっています。

米人達のフィッシングは生餌を使う事はまずありません。バスフィッシングの場合には特にそうです。ルアーと呼ばれる疑似餌を用います。これは全体が釣り針そのもので、その針に魚の形をしたプラスチックや水を切る際に回転する金属片を取り付けておいたり、毛針のように鳥類の羽毛などが巻きつけてあったりします。これをリールを使用して投入し、各様のアクションをつけながら引き釣ります。

三月の中旬、テキサスといえども今だ冷たい水が流れているので、早朝バートンスプリングに出陣しました。空はどんより曇っています。岸から見る流れは前

日目の雨の為に普段と比べ、かなり濁っています。ルアー釣りで、魚の視覚が頼りですから良いコンディションとはいえず、バスはよく集まるポイントでは、バスだけ多投をくりかえす必要がなければなりません。この川の場合、一カ所ビッグポイントがあります。川幅約四〇メートルで大木が川に倒れ込んで深い淵を作っている所です。岸の両側にはオークの大木がそびえ立ち、足場はそんなに悪くありませんが、倒れ込んだ大木により、作られている淵が川のほぼ真中にあるため、そこに正確に投入するのはかなり慎重さが要求されます。弾力に富む短いロッド(竿)を使用し、ラインはやや太目にし、やや重量のあるルアーを使用することになりました。約一〇センチメートルのプラスチックワーム(プラスチックで作ったミミズ)を重り付きの針に取り付けたものをルアーとしました。淵に人影はありません。川の流れが音と鳥の鳴き声だけが聞こえます。二度、三度とルアーを投入しますが、淵の奥みにルアーを引っかかないように、できるだけ小さなアクションで行います。さらに数回投入した

回攻めてみました。一度それらしい当りを感じたものの、残念ながらヒットさせることができませんでした。今日はこの一匹が釣果となりました。

整理・清潔は実験前の第一条件

大29 小武海富士子

大学を卒業し今の会社に入社して、早くも一年と四カ月が過ぎようとしています。会社でもアナリストとして認められ、仕事も何となく板についてきたような気がする今日この頃です。

主に食品一般の検査、分析等を行っている会社ですが、私は入社以来ずっと、細菌室で、食品の細菌検査を担当しております。

朝は器具洗いに始まり、培地づくりや、その日の準備を行います。培地は「つくる」といってもほとんどが既成のもので、必要な量を水に溶かし、滅菌すればでき上がりです。確かに学生時代の培地づくりよりは楽ですが、少し忙しいと準備は午後までかかります。

待ちに待った屋敷みには、私など、たいして近くの神奈川県庁舎の十二階にある食堂で、横浜港をながめながら、ポケッと過してました。

しかし、仕事の大半は、器具その他の洗浄や、培養済み、使用済み菌や器具を滅菌したりとか、消毒用アルコール綿に使用する綿を切ったりとかの、雑事一般に尽きるといってもいいくらいです。このような雑用は、なにも新人や女性だけの仕事ではなく、細菌室の長に当る人も、手の空いている限り、雑用があれば行います。こういった整理とか、清潔にするとかいったことは、細菌室で仕事をすることのみならず、理化学分析等を行う上でも、それら実験を行う前に満ちておかなければならぬ第一条件であると思えます。

近ごろ、ゴミドリにも悩まされてはおりますが、私の自宅よりきれいな仕事場です。週に一度、細菌室にいる人間が掃除で掃除しているだけで、あとはいつもみんなが少し気をつけてさえいればいんです。

午後からは、釣園したり、画線したり、サンプルの細菌検査を行います。

午後からは、釣園したり、画線したり、サンプルの細菌検査を行います。

関東支部総会開かる

あちこちに和やかな歓談の花



春爛漫の四月二日(金)午後六時八時、東京は副都心新宿の超高層ビルの一隅、三井ビル五十四階、レストラン「メヌエ」において、三翠化学会関東支部総会(会長→長瀬和雄)が行われた。

関東支部総会は、先生方の多数の御参加を仰ぐため、東京で農芸化学会が行われるに期を合わせて行なうことを恒例としており、今回(昭和五十四年四月、幹事大9卒)に引き続き、三年ぶりに開催されたもの。

一口に関東支部といっても、その版図は、静岡、長野、栃木、群馬、茨城の諸県に及び、会員数はその割には少なく二〇〇名足らずである。

一年中、最も多忙な年度末にもかかわらず、その内四七名が集い、岩本先生、熊沢先生、赤木先生、小宮先生、嶋林先生、高橋先生、奈良先生、古市先生、前田先生、藪本先生の十一名の先生方の御参加を得て、懐かしい歓談のひとときを過ごした。

地上二〇〇mに位置する会場

三翠会三重県支部

連絡協議会総会開かる

三翠化学会が加入している、三翠会三重県支部連絡協議会定例の本年度総会が去る八月七日午後二時から農学部大講義室で開催された。

当日は農学部部長森邦男氏・三重県知事田川亮三氏(農15)・衆議院議員角谷堅次郎氏(土14)をはじめ、我が三翠化学会、三翠農学会(農学部と総合農学部、農業機械学科卒業生を含む)、志登茂会(農業土木学科)、三重県学会の三重県在任、勤務者一五〇余名が出席した。

総会議事のうち、各学科同窓会の情報交換では、渉谷副会長により三翠化学会の活動状況が報告された。

三翠会だより

名簿申込みを

今年、農学部同窓会であり、また三翠会の名簿発行の年に当たります。各幹事ならびに三翠会事務局では、日頃より名簿内容の正確を期す様努力しておりますが、只今夏休みを返上してラストパートに入っています。会員各位におかれましては幸甚です。

大1回卒業

伊勢に集う

我々のクラスはほとんど毎年のように何らかの理由づけをして同窓会を実施している。本年は「田中庄助先生の追悼」ということで二月二十一日、伊勢市佐八町に新設された間が三翠化学会の万年役員として頑張っている福田映君である。出席者は東海支部総会と重なったため、十四名であったが、恩師田中先生のお導きがあったか、卒業後初めて参加した学友が目立った。また、出席者を写真で紹介しよう。前列右から三重県北勢公設地方卸売市場長・水谷、牛虎社長・清水、江南女子短大教授・前田、中利産業社長・中野、行政管理局統計主任・林、後列右から庄野殿研究場長・岡本、白井松新薬研究開発部長・西川、飯南高校長・原田、ヤマモリ食品資材課長・服部、筆者(松坂大学・吉田)盛

専1回卒業

三十二年目の再会

五十七年度三翠化学会総会の前夜として卒業後三十三年の三翠会をやるよとの話が出たのが総会のわずかな前、ハガキ通信は間に合わず、電話連絡で五月二十二日午後六時、津新町の平治へたちまちクラスの半数が顔を揃え、それなら是非「同封の引きがき」は振替用紙で是非会員名簿の予約申し込みをしていただきます様ご案内致します。十一月二十五日頃にはお届け出来る予定です。尚、三翠化学会独自の名簿発行は現在所考しております。三翠会名簿を購入の上、ご利用いただけたいです。幸甚です。

大15回卒業

一月二日に開催

久しぶりに我々大十五回卒業生のクラス会が開催されたのは一月三日である。級友は三十七、八歳。あらゆる面で最も忙しい年齢に達しているといふことで泊りがけはよしと全員休職中である。学生時代から多士済々のクラスであったが、今なおその名残が残っている。パン屋、菓

クラス会だより

春、敗戦の日からわずか半年余り日本中混沌、濃霧殆ど都府は焼け野原で誰れもが空腹をかかえていた時、逸早く新設された農産製造科はイメージが極めて良く、当時としては最も貴重な食品をつくる学科ということで人気抜群、今日の医学部人気が比べべくもなく、俊秀雲のごとく集い、二十倍を越す難関を突破して集まった我々のクラスは、陸士、海兵、陸幼、予科練等軍関係のビリッとしたイキのよいのが半数を占め、その他旧制高校に折角、入学しながら空腹が身にしてみても、食品加工の魅力に引かれて転身して来た者も多数あって、多士済々、年令もまちまちで現在の共通一次では考えられないユニークさで

大15回卒業

一月二日に開催

兄は帰宅したが、その他面々は一室に集って、二次会となる。閑静で清らかな外宮の真山に位置するだけに市内に出ることもできず、まことに優等生的で、タルムとスルメイカだけの談笑が尽きない。甘党には井村屋の洋菓子も忘れられない。特に久方振りの出合いとなった林、中野、高橋の諸兄を中心に話がはずむ。中野兄らによる寮生時代の農場からのサツマイモ、果

クラス会だより

を心からお祈りしました。つづいて、福田幹事から本会開催の経緯と挨拶のあと乾杯。そして自己紹介が延々と続く。美声を聞く暇もなかった。現況と家族構成についての話が中心であったが、学窓を築立って三十年余の年輪を経ると、豊かな人生経験と巾広い人間関係の貴重さがにじみ出て、時の立つのを忘れさせる。

夜も更け、公務の関係で原田

た。クラス会ならではの雰囲気の中で、やがて老酒が効き出し、皆、係長さん、先生ではなくなり、十五年前の紅顔の美少年へとタイムスリップするのであった。

次回は三年後に、農製出身者の幹事で開催しようということになり、再会を約して夕刻、散会したのであるが、とりあえずの連絡先は新たに大学を出れないでいる小畑がやることになった。十五回卒業の皆さん、住所等の変更があった時は大学まで連絡を、

(小畑記)

▽出席者△
 (専1) 嶋林、岡田、長谷川、羽見、若林、本根、松村、岡、藤田、東、松林、佐野、別府、杉浦、西村、豊田、芝田、今西、渡辺
 (専2) 十川、中川、佐々木(順序不同) (今西・渡辺記)